



【戦評シート】

平成 17年 5月3日(火)	協会名： 能代市 バスケットボール協会						
場 所：能代市総合体育館	記入者：大山 正道						
チームA 安城学園 90	{ <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>26 - 16</td></tr> <tr><td>24 - 20</td></tr> <tr><td>24 - 21</td></tr> <tr><td>16 - 20</td></tr> </table> } 77 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>チームB</td></tr> <tr><td>岡山県選抜</td></tr> </table>	26 - 16	24 - 20	24 - 21	16 - 20	チームB	岡山県選抜
26 - 16							
24 - 20							
24 - 21							
16 - 20							
チームB							
岡山県選抜							

スターター	チームA： 4 5 6 11 17
	チームB： 5 8 14 15 17
ディフェンス (試合開始時)	チームA： ゾーン(オールコートプレス、 2 - 1 - 2)
	チームB： ゾーン(2 - 1 - 2)

能代工業高校出身の金子コーチ率いる安城学園と、202CMの外国人ポールブノアジャイを擁する岡山県選抜の戦いである。安城学園はオールコートプレスから2 - 1 - 2のゾーンディフェンス、岡山県選抜は2 - 1 - 2のゾーンディフェンスでスタートする。安城学園は 山崎や 宇佐美の3Pで得点すれば、岡山県選抜は ポールブノアジャイのゴール下で得点する。お互い流れをうまくつかめず、外からのシュートの打ち合いになり、シュート率のよかった安城学園26 - 16の10点リードで第1Qを終える。

第2Qの立ち上がり安城学園は 国本や 山崎の3Pなどで連続8得点をして、34 - 18と突き放しにかかるが、岡山県選抜も 西谷のゴール下、松山の速攻などで連続6得点をして、反撃をする。しかし安城学園のオールコートゾーンプレスが徐々に効き始め、岡山県選抜がミスを重ねてしまう。岡山県選抜は相手の流れを止めるため残り1:32のところまでタイムアウトを取るが、結局50 - 36と安城学園のリードで前半を終える。

第3Qの立ち上がりでペースをつかんだのは岡山県選抜。朴の3Pや 藤井の速攻などでわずか1分間に7点差に迫る。ペースをつかめない安城学園は残り7:29のところまでタイムアウトを取る。ここから一進一退の攻防が続く。安城学園は 宇佐美や 近藤の3Pで得点し、岡山県選抜は ポールブノアジャイのブロックショットやゴール下のシュートなどで反撃し、74 - 57の安城学園の17点リードで第3Qが終わる。

第4Q岡山県選抜はディフェンスをマンツーマンに切りかえる。これが功を奏し、安城学園の3Pでの得点がなくなり、ギリギリと差を詰めていく。そして 竹原の3Pなどで残り4:00のところまで70 - 81の11点差にまで追いつく。しかしここからミスが続いてしまい、安城学園に反撃を許してしまう。結局終始安定したシュート力を見せた安城学園が90 - 77の13点差で快勝した。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。